

**原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ  
復興対策基礎基盤研究プログラム 事後評価総合所見**

<p>研究課題名：原発事故のミティゲーション措置に関する貨幣的評価          研究代表者（研究機関名）：山根史博（国立大学法人神戸大学）          再委託先研究責任者（研究機関名）：浅野耕太（国立大学法人京都大学）</p> <p>研究期間及び研究経費：平成24年度～平成25年度（2年計画） 13百万円</p>			
項目	要 約		
1. 研究の概要	<p>福島第一原発の事故によって生じた原発立地地域における資産価値損失及び住民経済厚生損失を軽減するための方策として、被曝リスクの削減、事故発生リスクの削減、リスクに関する知識の涵養といったミティゲーション措置に着目し、措置ごとの損失軽減効果を定量的にモニタリングすることで、費用便益分析の観点からみて最適な措置の組み合わせを検討する際に役立つデータベースを構築する。</p>		
2. 総合評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>A</b></td> <td> <p>原発事故のミティゲーション措置の経済的価値を定量化するためのひとつの方法が提示され、その有効性が実証されており、確実な先行研究とデータに基づいた当該課題に対する本格研究として、今後の政策やPA対策に大きな効果をもたらす優れた成果が挙げられている。当該研究課題の重要性を鑑みるに、研究成果を、より広い社会の各層に提供することが望ましい</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている  <b>A) 優れた成果が挙げられている</b>            B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんど挙げられていない</p> </td> </tr> </table>	<b>A</b>	<p>原発事故のミティゲーション措置の経済的価値を定量化するためのひとつの方法が提示され、その有効性が実証されており、確実な先行研究とデータに基づいた当該課題に対する本格研究として、今後の政策やPA対策に大きな効果をもたらす優れた成果が挙げられている。当該研究課題の重要性を鑑みるに、研究成果を、より広い社会の各層に提供することが望ましい</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている  <b>A) 優れた成果が挙げられている</b>            B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんど挙げられていない</p>
<b>A</b>	<p>原発事故のミティゲーション措置の経済的価値を定量化するためのひとつの方法が提示され、その有効性が実証されており、確実な先行研究とデータに基づいた当該課題に対する本格研究として、今後の政策やPA対策に大きな効果をもたらす優れた成果が挙げられている。当該研究課題の重要性を鑑みるに、研究成果を、より広い社会の各層に提供することが望ましい</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている  <b>A) 優れた成果が挙げられている</b>            B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている            C) 部分的な成果に留まっている            D) 成果がほとんど挙げられていない</p>		